

## “KYB MORIWAKI MOTUL RACING”誕生！鈴鹿8耐参戦

～モリワキレーシングとのスポンサー契約締結について～



“KYB MORIWAKI MOTUL RACING”マシン

※2017マシンをベースにしたイメージ図であり  
実際のデザインはスポンサー各社と調整中

当社はモリワキレーシングとスポンサー契約を締結しましたのでお知らせいたします。  
これにより”2017-2018 FIM世界耐久選手権最終戦である鈴鹿8時間耐久ロードレースより  
”KYB MORIWAKI MOTUL RACING“として新たなスタートを切り、当社製フロントフォーク  
及びリアクッションユニットの供給及び技術支援サポートをより強力に推進して参ります。

### 〈フロントフォーク〉

軽量化と剛性の最適化に加えて、タイヤ性能を最大限に引き出すために新設計した減衰力カートリッジの採用、そしてフリクション低減を目的としてインナーチューブ表面にDLC(Diamond Like Carbon)処理を採用

### 〈リアクッションユニット〉

フレーム、タイヤに最適化したオリジナル設計とし、ピストンロッドにはフリクション低減を目的としたDLC(Diamond Like Carbon)処理を採用

またモリワキレーシングが継続参戦中の MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦からも新たなチーム名で参戦させて頂く事をご報告させて頂きます。

## ■参戦体制

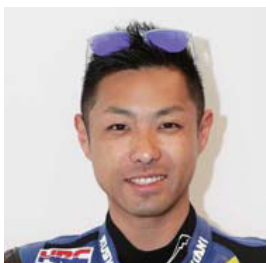
- ・チーム名 KYB MORIWAKI MOTUL RACING
- ・マシン Honda CBR1000RR モリワキ改
- ・サスペンション KYB製(製品供給及びテクニカルサポート)

### 森脇 護 総監督



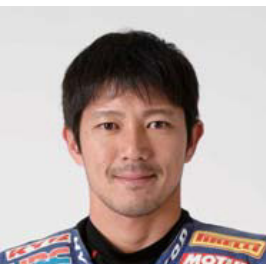
2008年度より開発を開始した世界最高峰二輪車レース、MotoGP / Moto2用モリワキオリジナルレーシングシャーシMD600の開発時から共に戦ってきたKYBとの協力体制が更に強固になった事を本当に嬉しく思います。今回2018年度の鈴鹿8耐からスタートとなりますが、継続して全日本ロードレース選手権にも飛躍し続けるKYB製サスペンションのお力もお借りし、今まで多くのお力添えを頂いている多くのパートナーと共に優勝を目指して参ります。

### 高橋 裕紀選手(33歳)



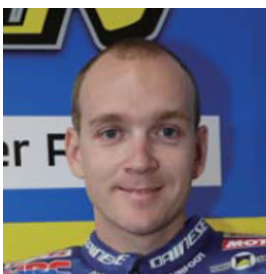
2015年の全日本ロードレース選手権J-GP2からKYB製サスペンションでレースを戦い、結果シリーズチャンピオンを獲得する事ができました。JSB1000クラスにステップアップした今でも継続してサポート頂き、私自身は4シーズン目となります。これまで以上のサポートを頂ける事を嬉しく思うと共に、これまで以上の結果を残せるように精一杯戦っていきたくと思います。引き続き応援宜しくお願いします。

### 清成 龍一選手(35歳)



2017年から初めてKYB製サスペンションでレースを戦いました。久しぶりの日本のレースで新しい事づくめの昨シーズンは強力なサポートのお陰でポジティブにレースと向かい合う事が出来、感謝しています。今年の鈴鹿8耐より更なるサポートを頂けるとの事で、一層頑張らなくてはいけないと気が引き締まる思いです。優勝はまだないのですが、いい走りが出来ていると思います。これからも全力で戦い、一緒に結果を出していきたいと思っています。

### Dan Linfoot選手(29歳)



まず初めに、再びモリワキレーシングで鈴鹿8耐に参戦出来るチャンスを頂けた事を光栄に思います。また、昨年はスーパーサブに徹しましたが、今年は決勝も走行します。レースの事を考えると興奮が収まりません。これまでのキャリアの中ではKYB製サスペンションを装着でのレース経験は無かったのでチャレンジングですが、昨年の鈴鹿8耐で練習から予選までを経験させて頂き、非常に馴染みやすい仕様であった事を覚えています。これまで以上のサポートを頂けるKYBに感謝しつつ、ユウキとキヨと共に精一杯戦って結果を残したいと思っています。

### 問合せ先

KYB 株式会社 経営企画本部 広報部長 前山 宣則 Tel03-3435-3552

以上